

2018 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 1 回議事録

日 時 : 2018 年 5 月 14 日 (月) 14 時 00 分～17 時 00 分
場 所 : 日本福祉大学東海キャンパス (6 階 会議室 5)
出席者 : 佐藤・石川 (日本福祉大学)、前田・山本 (同朋大学・名古屋造形大学)、澤木 (名古屋女子大学)、古田 (愛知大学)、榊岡 (愛知工業大学)、田中 (金城学院大学)、山際 (皇學館大学)、近藤 (中部大学)、石川 (東海学園大学)、中田 (名古屋学院大学)、菅野 (南山大学)、大橋 (人間環境大学)、杉山 (藤田保健衛生大学) 敬称略

議長は研究会運営委員長校日本福祉大学の佐藤委員長が担当した。

1. 2018 年度運営委員体制について

佐藤委員長より資料 p1 に基づき、2018 年度研究会運営委員体制について説明があり、了承された。なお、今年度より新たに運営委員となる主幹事校南山大学の菅野委員、副幹事校同朋大学・名古屋造形大学の山本委員、藤田保健衛生大学の杉山委員の紹介があった。

2. 2017 年度研究会決算 (3/31 現在) について

石川 (宗) 委員より資料 p4～6 に基づき、2017 年度東海地区協議会研究会決算について報告があった。前回の運営委員会説明 (2 月 28 日) からの変更点として、『館灯』テーブル起こしに関わる費用が理事校予算であったため、修正を行った旨説明があり、決定した。

3. 2018 年度事業計画および研究会予算について

4. 2018 年度研究会について

2018 年度事業計画のうち、研究会について主幹事校である南山大学の菅野委員より資料 p7 に基づき提案があった。未定であった開催場所が調整の結果、愛知大学名古屋キャンパスとなったこと、講師の千錫烈氏による講演会の演題が「大学図書館における危機管理」の予定となったこと、講演会以外の内容については、グループディスカッションとその報告を予定していること、詳細については次の運営委員会までに詰めていくとの説明があり、決定した。実務担当者研修会及び館灯 57 号の発行については、石川 (宗) 委員より、資料 p7 に基づき、説明があり、決定した。

2018 年度研究会予算について、石川 (宗) 委員より資料 p8 に基づき説明があり、決定した。研究会支援費を 60 万円とした理由については、実務担当者研修会を開催した前回の研究会支援費は 75 万円であったが、研究会が年 2 回から 1 回となったためとの説明があり、了承された。

5. 2018 年度実務担当者研修会について

石川 (宗) 委員より、別紙資料に基づき 2018 年度実務担当者研修会に関わる以下 1)～5) の点について提案があり、決定した。東海地区協議会加盟館への開催案内の連絡については 5 月 25 日を予定していること、参加申込み締め切り日を 6 月 15 日としている点について説明があり、了承された。

- 1) 行事予定
- 2) 実務担当者研修会全体スケジュール・作業分担
- 3) 実務担当者研修会全体プログラム

- 4) 実務担当者研修会各グループ概要
- 5) 実務担当者研修会の開催案内文書

6. 東海地区協議会ウェブサイトについて

田中委員より資料 p9 に基づき、東海地区協議会ウェブサイトにかかわる業務報告があり、了承された。

7. 『館灯』について

前田委員より資料 p10～15 に基づき、『館灯』57号について説明があり、決定した。なお、資料 p10 に記載の実務担当者研修会記録（全体）の担当が「次期委員長校：愛知工業大学」の記載となっていたが、事後において前回担当校の事務記録確認結果を踏まえた結果、今期の主幹事校である南山大学が担当校となるとの訂正があり、改めて後日のメール審議にて決定した。

8. その他

会議終了後、実務担当者研修会会場の現地視察を行ったのち、グループごとに打合せを行った。

以上

記録者：日本福祉大学 石川